貫く改革！

更なる挑戦、厚木づくり

厚木市長

小林つねよし



信念

市民協働
現地対話主義

小林つねよし・２期目マニフェストの実績

３年間の
平成２３～２５年度
仕事達成率

82.6%

※民間の有識者５人が評価

３大改革を推進



❶経済活性化・企業誘致

厚木インターチェンジ南部に、スーパーや衣料品店、家電量販店などを誘致 達成
企業・商業誘致で 5,051 人の雇用創出（平成 23 年２月からの集計） 達成



❷子育て・教育環境日本一

小児医療費助成の対象を中学卒業まで拡大 達成
全中学校（普通教室）に冷暖房を完備。平成２６年度からは小学校にも順次設置 進行



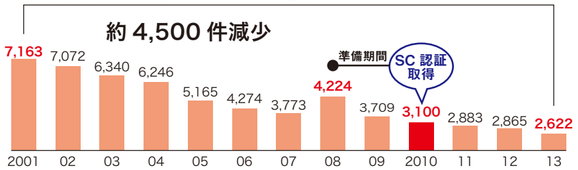
❸徹底した行財政改革

第４次行政改革（平成２１～２３年度） 改革効果 115.5 億円
第５次行政改革（平成２４～２６年度） 111 億円（予定） 進行
職員 117 人・９億 3,700 万円を削減（平成 25 年度までの３年間） 達成

安心・安全なまち

市民協働による WHO セーフコミュニティ（SC）を推進

■市内の刑法犯認知件数の推移



福祉施策が充実したまち

特別養護老人ホーム・介護老人保健施設を計画的に整備

健康・医療の充実したまち

県央地域の核となる
新・市立病院建設に着手

平成２７年３月
病院機能の７割がオープン



中心市街地が活性化したまち

中心市街地にあらゆる世代の交流拠点となる「アミューあつぎ」をオープン。オープンからの入館者は年間目標（130 万人）を上回る 219 万人



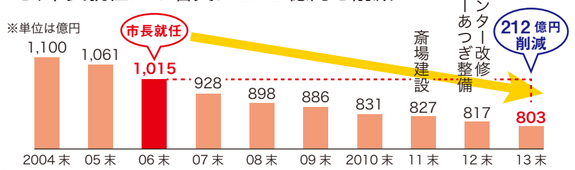
子育て環境が充実したまち

アミューあつぎに子育て支援センター「もみじの手」を、拡大してリニューアルオープン

県内最大面積

情報公開と行政改革が進むまち

確かな行財政改革を推進し、やるべきことはやりながら市の借金である市債の残高を、市長就任から着実に 212 億円を削減



■市債残高の推移

小林つねよし後援会

厚木事務所・〒243-0016 厚木市田村町 10-18　Tel.&Fax. 046-224-5678
上依知事務所・〒243-0801 厚木市上依知 1532　Tel. 046-245-1419　Fax. 046-245-1479

http://tsuneyoshi.net　office@tsuneyoshi.net

討議資料

３期目マニフェスト
Tsuneyoshi Kobayashi 3rd Manifesto

６つのビジョン

市長就任から２期８年。小林つねよしは「みんなでつくろう元気なあつぎ」をスローガンに「市民協働」「現地対話主義」の信念を貫き、皆様とお約束した改革（マニフェスト）の実現に全力を注いでまいりました。昨年２月には日本経済新聞社の「経営革新度調査」で、日本一の評価を獲得。22 万５千市民の総力を挙げた市民協働がその原動力となりました。

私は新たなマニフェストとして、「６つのビジョン」（１３６政策）と１１項目の“ゼロ”への挑戦」を掲げました。これまでの改革を貫き、このまちに暮らす全ての皆さんが誇りを持てる県央の雄都・厚木市を着実に築いてまいります。

市民が誇りを県央の雄都へ。持てる

① 世界に誇れる安心・安全なまち
“いのち”を守り抜く！

② 子どもたちの未来が光り輝くまち
子育て・教育環境日本一！

③ 国際ビジネス拠点として力強く成長するまち
更なる経済活性化・企業誘致！

④ 自然の恵みを将来に継承するまち
豊かな自然との共生！

⑤ 誰もが光り輝く文化・芸術・スポーツのまち
全国に発信！あつぎの市民力！

⑥ 持続可能な行財政運営を誇るまち
継続！人口対策・経営革新！

安心して暮らせるまちへ「ゼロ」への挑戦！！

1. 「保育所待機児童」ゼロ
2. 「学童保育待機児童」ゼロ
3. 「いじめ」ゼロ
4. 「居所不明児童」ゼロ
5. 「孤独死」ゼロ
6. 「市内交通死亡事故」ゼロ
7. 「振り込め詐欺被害」ゼロ
8. 「中心市街地客引き」ゼロ
9. 「放置自転車」ゼロ
10. 「路上喫煙」ゼロ
11. 「人口減少」ゼロ

Zero



貫く改革！
更なる挑戦、厚木づくり

① “いのち”を守り抜く

- 高齢者が安心して生活できる地域包括ケア社会を実現します
- 特別養護老人ホームなどの高齢者福祉施設整備を進めます
- 高齢者の買い物支援ネットワークを構築します
- すべての老人憩の家に、ＡＥＤと温水洗浄便座を設置します
- 「（仮称）認知症疾患医療センター」を誘致します
- 障がい者の日中活動や就労の支援を強化します
- 新たに専門員を配置し、『居所不明児童ゼロ』を継続します
- 総合福祉センターを「（仮称）保健福祉センター」としてリニューアルします
- 「生涯現役健康都市」実現に向け、健康ポイント制度を導入します
- 最先端の高度医療を提供する「新・市立病院」を完全オープンします
- 安心・安全なまちの実現に向け、ＷＨＯセーフコミュニティ・インターナショナルセーフスクールの継続的な活動を展開します
- 総合的な空き家対策を進めます
- 南海トラフ地震、首都直下型地震、富士山火山噴火、大雪に対応した地域防災計画の見直しを行います
- ゲリラ豪雨などに対応するため、中心市街地などの浸水対策を進めます
- 災害情報伝達網を強化するため、新たな防災ラジオの導入を促進します
- 広域避難場所の機能を備えた総合公園を市内北部地区に整備します
- コンビニエンスストアなどへＡＥＤを設置します
- 消防団施設の整備や装備・資機材を充実します

② 子育て・教育環境日本一

- 中学校に続き全ての小学校に冷暖房と温水洗浄便座を設置します
- 子どもたちが確かな学力を身に付ける「（仮称）あつぎ教育」を実施します
- 保育所・学童保育の『待機児童ゼロ』を実現します
- 公共施設などを活用した放課後の子どもの居場所を充実します
- 「（仮称）健康こどもの森」をオープンします
- 新たに「（仮称）療育相談センター」を整備します
- 中央図書館を全国に誇れる魅力ある図書館としてリニューアルします

③ 更なる経済活性化・企業誘致

- 厚木バスセンター周辺と本厚木駅南口広場周辺の再開発を進めます
- 本厚木駅西口の開設に向けて取り組みます
- 相鉄線・相鉄いずみ野線・小田急多摩線・東急田園都市線の鉄道延伸に向けた取り組みを進めます
- 圏央道厚木 PA にスマートインターチェンジを開設します
- 厚木秦野道路、新東名高速道路の早期整備を促進します
- 相模川への新たな橋の整備に向けた検討を行います
- 世界を見据えた企業誘致を推進し、新たな雇用を創出します
- 「国家戦略特区」や「さがみロボット産業特区」を活用し、新たなものづくりブランドの創出を支援します
- 国の財源を活用した地域商品券を発行します
- 七沢・飯山温泉郷など観光資源の全国への発信と新たな創出を推進します

④ 豊かな自然との共生

- 有害鳥獣の積極的な捕獲を促進するなど、総合的な鳥獣被害対策を強化します
- 都市農業を振興するため、営農者や新規就農者の支援・遊休農地の解消に取り組みます
- 電気自動車（EV）などの普及と利活用できる環境の整備を促進します
- 豊かな自然を守り育てる生物多様性の保全と再生に取り組みます
- 神奈川県と連携し県立相模三川公園の整備を進めます
- 治水能力を維持するため、河川の樹林化対策と河床整理を進めます
- 里地里山の多面的機能の再生と保全活動を行う団体等を支援します

⑤ 全国に発信！あつぎの市民力

- 高校野球など公式試合ができる野球場を整備します
- 新たなサッカー専用グラウンドを整備します
- 「あつぎ市民ふれあい宣言」をシンボルに、市民相互の絆を深め、地域力を高めます
- ボランティアポイント制度を導入します
- アーティストを夢見る若者を支援します
- 市内企業と連携したあつぎ協働大学を新たに開校します
- スポーツアカデミーの充実と 2020 年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致活動等を展開します
- 荻野運動公園体育館設備を充実します
- プロスポーツ大会を誘致します

⑥ 継続！人口対策・経営革新

- 企業誘致や新たな雇用創出を進め、市外からの定住を促進します
- 子育て世帯の住宅取得を支援します
- 安心して健康に暮らせる住環境をつくるため、３世代同居を促進します
- 公共施設の最適化や長寿命化に取り組みます
- 各種証明をコンビニエンスストアで取得できるサービスを導入します
- スマートフォン向けアプリを利用した広報紙配信サービスを導入します
- 公共施設に Wi-Fi スポットを設置します
- 「広域連携拠点都市」として、経済・防災・交通・観光などの広域的施策に取り組みます

136 の政策から抜粋
詳しくは公式ホームページでご覧頂くことができます。

着手中事業
責任を持ってやり遂げます！！



新・市立病院
平成 29 年 4 月
完全オープン
最新医療で地域医療の中核を担う



健康こどもの森（仮称）
平成 27 年度オープン
自然体験活動の新たな拠点づくり



中町第 2-2 地区周辺整備事業
バスセンターや図書館などを再整備



小学校普通教室への冷暖房設置
安心・快適に学習できる環境づくり



本厚木南口再開発事業
魅力ある駅周辺の顔づくりに着手